

日本共産党 大津市会議 員団ニュース

No.179

2016年5月号

大津市御陵町3-1(市役所内)
TEL&FAX: 077-524-5613

ご意見・ご要望を
お寄せください。
info@otsu-jcp.net



熊本地震・1日も早い復旧を

救援募金にご協力ください

4月14日に発生した熊本地震は、現在も余震が続き、終息の見通しがもてない状態です。被災地のみならず、心よりお見舞い申し上げます。

きることからと、市内で救援募金に取り組んでいます。

長引く避難生活で被災者の方々の心労も日増しに強まり、震災関連死も出ており、1日も早い復旧・支援が求められています。党市議団も



大津町で物資を運ぶ大津市職員

催しで賑わう公園前で募金を呼びかける党市議団
(4月16日、市役所前)



大津市からは 大津町の支援へ

熊本県の大津町でもいま

なお515名(4月25日現在)の方が避難されており、各避難所まで物資が届かないというところで大津市からも物資を調達、職員派遣を行っています。

4月27日には、大津市でも再度、災害時の対応を見直そうと会議が開かれました。党市議団も、日常的な備えや建物の耐震化の促進、これまでの震災の経験を活かした災害弱者への支援、避難所運営などの体制強化のため、市および関係機関への働きかけを強めていきます。

平和への道に武器は要らない！ 「憲法記念の集い」に参加して

滋賀弁護士会主催の「憲法記念の集い」で、日本国際ボランティアセンター代表理事の谷山博史さんの講演を聴きました。谷山さんは数々の紛争地域での支援経験をもとに、日本国民を危険にさらす安保法制と安倍政権の『積極的平和主義』について講演。

はどうして生まれるのか、武力行使で失うものの大きさを政府は認識しておらず、軍事に頼る道では70年かけて獲得してきた信頼を失うことになるという話も聞きました。私たちは、どんな未来を選ぶのか…この夏、日本の未来を左右する参議院選挙が行われます！
(林まり)

「昨年の国会での安保法制論争では、『NGOを助けられなくていいのか!』と私たち

日本共産党滋賀県委員会は4月24日、市田忠義副委員長、大門みきし参院議員を迎え演説会を開催。1300人を超える参加の中、市田氏は、国民からの戦争法(安保法制)廃止・立憲主義回復を求める声から野党合意が実現し、7月の参議院選挙は歴史的たたかいとなること、また安倍政治の破綻、それに対ししっかりとした対案を示す日本共産党の躍進でこそ、政治は転換できることを訴えました。



野党共闘調印式
(4月24日)

同日、午前中に滋賀県の日本共産党、民進党、社民党が統一候補を立て、参議院選挙をたたかう調印式が行われました。演説会では、統一候補となった林久美子氏も登壇。「戦争法廃止」「立憲主義の回復」で一致し、野党が共闘する歴史的な日となりました。

日本共産党は、憲法破壊の政治をやめさせ、戦争法をなんとしても廃止させるため、党と野党統一候補の勝利のために全力を尽くします。

日本共産党の躍進で暮らし優先の政治を 党市議団も決意あらたにがんばります！

戦争法廃止、立憲主義を取り戻す 滋賀でも歴史的野党共闘！ 安倍政権退陣へ

「一度武器を用いられれば本人が戦場となる」また、テロ

環境を壊さない メガソーラー(太陽光発電施設)設置を



現在、売電目的のメガソーラー設置が急速に進んでいます。メガソーラーは、周辺住民への事前説明を行わなくても設置でき、突然、森林が伐採されたり、太陽光パネルが住宅に迫って設置されたりと歯止めのない乱開発が問題になっています。大津市内でも、自然環境や生活への影響、などに心配や不安の声があがっています。

原発依存から脱けだし、再生可能エネルギーへの転換が求められていますが、そのために環境破壊が行われていけば本末転倒です。2月議会でも杉浦市議が市の対応について質しましたが、きちんとしたルールを整備しなければ、利益追求優先の開発がさらに広がることとなります。事業の計画段階からの情報公開や地域経済への貢献、環境アセスメントなども検討されるべきです。

大津市も国・県と協力して取り組むよう求めています。